

農薬の使い方 その1 9月の農作業

■農薬とは

人が栽培している植物を害する病害虫や雑草の防除に用いられる殺菌剤、殺虫剤、その他の薬剤及び農作物等の生理機能の増進または抑制に用いられる成長促進剤、発芽抑制剤、その他の薬剤をいう。

■農薬に関する法律

農薬取締法・食品衛生法(残留農薬)・毒物及び劇物取締法 など

■農薬の用途別種類

- 殺虫剤…有害な昆虫を防除する薬剤、殺ダニ剤、殺センチュウ剤、貯穀害虫防除の燻蒸剤も含まれる。
- 殺菌剤…有害な菌を防除する薬剤(ウイルス病防除剤も含む。)
- 殺虫・殺菌剤…上記の2種類の混合製剤。
- 除草剤…有害な雑草を駆除する薬剤。
- 殺鼠剤…野そ駆除をするための薬剤。
- 植物成長調節剤…芽の伸長、花芽の形成、果実の成熟、種子発率の向上、果実の摘果、茎の節間伸長抑制剤などに関する薬剤。
- その他の農薬…展着剤、忌避剤、誘引剤など。



■農薬の剤型

(1) 主な固形製剤

- 粉剤…農薬原体を粘土などの鉱物質微粉で希釈したもの。
- 粒剤・粉粒剤…細粒となるように製剤化したもの。
- 水和剤…水和性を有し、水にけん濁させて用いる製剤。
- 水溶剤…水溶性の粉状、粒状の固体製剤で、水に溶解させて用いる製剤。
- 顆粒水和剤…水和剤の飛散防止のため顆粒化した製剤。
- ジャンボ剤…1個約50gの球状、円柱状、その他の塊状の除草剤製剤。

(2) 主な液体製剤

- 乳剤…農薬原体を有機溶剤に溶解し、乳化剤を加えた液体製剤。
- 液剤…水溶性液体の製剤。そのまま水に希釈、溶解して用いる。
- 油剤…水に不溶の液体製剤。そのまま、あるいは有機溶媒に希釈して用いる。
- フロアブル剤…水に水和剤原体を分散させた濃厚けん濁製剤。空中散布用はゾル剤。
- 濃厚エマルジョン(EW)または乳濁剤…乳剤としての特徴をもち、欠点を補うよう開発された製剤。刺激性が低く、葉害のおそれが低い。
- マイクロエマルジョン(ME)剤…細かい油滴が水に分散している製剤。透明な液体で乳濁せず、液剤に分類される。
- サスポエマルジョン剤…フロアブル剤と乳濁剤を混合したような製剤。液剤に分類される。
- マイクロカプセル剤…農薬の有効成分を高分子膜などで均一に被覆し、マイクロカプセル化したもの。

(3) その他の農薬

- エアゾル…蓄圧充填物で内容物が容器からバルブを通して霧状に噴出する農薬の総称。
- ペースト剤…糊状の製剤。
- 薫蒸剤…農薬有効成分を密閉条件下などで気化させて用いる製剤。
- 塗布剤…当該農薬を農作物の一部に塗布することにより使用する製剤。
- D L 粉剤…粉剤の一種を、飛散を少なくするために粒径の大きい粒子を凝集させたもの。
- ドライフロアブル剤…有効成分を界面活性剤などと顆粒化した製剤。
- パック剤…製剤をポリビニールアルコールフィルムで包んだもので、このまま水中で使用。

裏面は農薬の使い方 その2を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.245 平成23年9月13日発行

農薬の使い方 その2 9月の農作業

■農薬は道具の一つ

農薬はあくまでも農業に使用する薬です。

「くすり」は漢字で、くさかんむり + 楽と書きます。薬は使い方によって善にも悪にもなります。

■無農薬のメリット・デメリットは？

■メリット

安心
安全
環境にやさしい
農薬費用がかからない

■デメリット

重労働
減収
見た目が悪くなる
管理が難しい
農薬以外の費用がかかる

■農薬を使う前に… 農作物を栽培する上で大切なことは

- ①病気になるにくい、害虫が発生しにくい環境づくりからはじめましょう。
畝幅・株間を広く、風通しをよくすることが大切。
- ②健全な作物体を作りましょう。
土づくり・排水対策・施肥など総合的に病害虫から守ることが重要。
- ③観察をしましょう。
小さな変化を見逃さないように。幼虫・卵の発見。病気は初発を発見。生理障害なのか、病気なのかといった原因を究明しましょう。

■化学農薬を低減するために(化学肥料・化学農薬低減の手引きを参照)

- 虫対策 → 防虫ネット・銀テープ・捕獲・袋かけ・マルチ(シルバー)
- 病気対策 → 太陽熱消毒・雨除け被覆・マルチ(下からののはね除け)・病気の葉の除去抵抗性台木
- 草対策 → 太陽熱消毒・マルチ(黒・有機マルチ)・草刈り

いざというときは農薬の力も借りましょう。

少ない労力で一定の効果が得られます。

農薬を正しく理解し、正しく使いましょう。

- ・上記対策に、ポイントを押さえた農薬の使用をすることで、最終的に防除回数を減らすことができます。

例：定植時粒剤の活用、適期防除、初発時の適切な対処など



裏面は農薬の使い方 その1を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.245 平成23年9月13日発行